



第七十三回体育大会が6月16日(木)開かれた。コロナ禍で中止されていたマスコット展示が3年ぶりに復活、赤団は「九尾と天狗」、白団は「千と千尋の神隠し」、青団は「獅子」と、いずれも力強く迫力のあるパネルが並んだ。各団の応援も感染症対策に配慮した上で行われ、各競技に全力で取り組む選手にエールが送られ

第73回体育大会

距離は空けても絆は密に！
3つの魂 個々に輝け



R4町内版 第1号

発行：富山県立入善高等学校
放送広報部
電話(0765)72-1145
ホームページ
<http://www.nyuzen-h.tvm.ed.jp/>

た。午前中は赤団が優勢だったが、午後の部では白団、青団が追い上げた。白団が見事逆転優勝を果した。午前中は赤団が優勢だったが、午後の部では白団、青団が追い上げた。白団が見事逆転優勝を果した。午前中は赤団が優勢だったが、午後の部では白団、青団が追い上げた。白団が見事逆転優勝を果した。



もに全力疾走し、会場を盛り上げた。
(放送広報部 加納・柳澤)
* * *
今年で2回目となる部対抗リレー。「本気部門」では、どの部活も全力で走り抜きバトンをつなぎ、男女ともに激しい接戦を繰り広げた。「パフォーマンス部門」では、各部の選手が普段の活動では決して見せない個性あふれる姿で登場。工夫をこらしたパフォーマンスを見せ、会場を大いに沸かせた。
(放送広報部 米澤)

【第73回体育大会結果】

競技の部 総合優勝 白団リレーの部

総合リレー 優勝

白団 (Bチーム)

女子400mリレー 優勝

赤団 (Bチーム)

男子800mリレー 優勝

白団 (Aチーム)

マスコット賞 青団

* * *

▼白団団長の奥村春貴君にインタビューしました。

「体育大会では各団が一致団結し、一人一人が大会を盛り上げようと競争や応援に全力で取り組んで

いました。いろいろと制限はあったものの、全員が最高の思い出となる大会になったのではないかと思います。

最初は応援団と団員との間に熱意の差があつて、士気を高めるのが大変だったけど、他の団四役や応援リーダーの協力もあり、団を盛り上げることができました。『自分一人では何もできなくて、たくさんの人に支えられてきた』と、改めてそう感じることができた体育大会でした。」
(聞き手・放送広報部 澤田)

アーチェリー場完成披露式典

6月28日(火)、本校第二体育館横に建設された屋外アーチェリー場の完成披露式典が挙行された。式典には富山県知事、県教



関係者によりテープカットが行われた

育長など多くの方が出席した。最初に富山県知事による式辞、県議会議長、入善町長による祝辞、生徒代表による喜びの言葉が述べられ、参加者によるテープカットが行われた。その後、代表生徒4名による試射が披露され、矢が的に当たった際には大きな拍手と歓声があがった。



アーチェリー部員による試射

自然科学コース 活動報告



【センター実習】



7月8日(金)、富山県総合教育センターで自然科学コース2年生38名が理科の観察・実験実習を行った。物理・化学・生物・地

学の4分野から各自2分野を選択しての実習であった。日頃の理科の授業で取り上げられない光ディスクのトラックピッチの測定や、医薬品の合成、カエルの反射運動やアンモナイトの研磨等、専門的な実験・観察機材が揃っていないければ体験できない実習とあって、目を輝かせながら取り組んでいた。

【課題研究発表会】

7月14日(木)には3年生の課題研究発表会が実施された。去年の11月から進めている研究で連日、各班、力を合わせて論文やパワーポイント作りに取り組んでいた。当日の発表では、おいと色と味の相互関係を調べた「クロスモーター現象」や「理想のシヤボン玉」を作る方法を化学的に追及した研究や流体の不思議さに注目した「表面張力」や「ブーメランの研究、大学レベルの内容である「オイラーの定理」を扱ったものなど、今年も興味深い内容の発表が並んだ。自然科学コースの生徒達は、聞いている人も楽しんでいるように、演示実験や動画等を



取り入れ、工夫を凝らした発表を行っていた。

農業クラブ総会 田植祭

5月27日(金)、学校農場(上田農場)にて、農業クラブ総会・田植祭が行われた。農業クラブ会長3年

綿隼人さんの挨拶に続き、今年度の行事計画案や会計予算案について協議した。今年度は、農業クラブの全国大会が北陸大会として各種競技が富山県内でも開催され、本校は南砺富野高校と共に平板測量

人も楽しんでいるように、演示実験や動画等を

校内意見発表会

6月3日(金)、本校視聴覚室にて校内意見発表会が行われた。日頃農業にふ

れている農業クラブ員の身近な問題や将来の問題について、抱負や意見を発表する行事である。各学年3名ずつ合計9名の生徒が練習の成果を出すべく、緊張しつつも堂々とした態度で発表した。本会の優秀者3名は、7月25日(月)小矢部園芸高校で行われる富山県大会に出場する。



競技会の運営を行う。そのため、各クラブ員は真剣に行事案に目を通していった。総会後の田植祭では、実習当番班ごとに交流し、親睦を深めていた。

校内農業鑑定競技会

6月30日(木)、本校農業実験室にて、校内農業鑑定競技会が行われた。授業や農業クラブ活動で得た農業に関する知識・技術の成果をもとに、実物や写真を見て鑑定・判断・審査し、実力を競い合う競技である。農業科全学年が参加し、生徒は制限時間1問20秒の中で集中して各問題に取り組んでいた。優秀者3名が10月26日(水)に福井県で行われる全国大会に出場する予定である。



来の問題について、抱負や意見を発表する行事である。各学年3名ずつ合計9名の生徒が練習の成果を出すべく、緊張しつつも堂々とした態度で発表した。本会の優秀者3名は、7月25日(月)小矢部園芸高校で行われる富山県大会に出場する。

観光ビジネスコース 活動報告



観光ビジネスコースでは、「地域を学ぶ、地域で学ぶ」をテーマに、フィールドワークを中心とした学びを展開している。本年度も三菱みらい育成財団の助成を受け活動を行っている。

【キックオフセミナー】

3月17日に富山大学の藤本先生をお呼びして1年生対象に実施した。フィールドワークとは何か、レポートの書き方、調査の仕



タブレットPCを使いフィールドワークで分かったことをまとめています。

方などを教わった。活動への具体的なイメージが湧き、大変良い講演会だった。

【フィールドワーク リサーチ中間報告会】

3月23日にうるおい館で、2年生が行っているフィールドワークリサーチの中間報告会を行った。これまで行ったフィールドワークを発表し、これからのリサーチをどうしていくかを考えた。生徒同士での活発な意見交換に加え、北陸先端科学技術大学院大学の比嘉先生と黒部川扇状地研究所水嶋先生にご講評をいただいた。

【サイクリングフィールドワーク】

7月8日に2年生がサイクリングフィールドワークを実施した。生徒達は、海岸近くのスポットを巡ることを通して、入善町の魅力に気づいた。また、移動そのものの楽しさを実感した。



農業・観光フィールドワーク